

## さしがや保育園アスベスト親子ワールド・カフェ（案）について

### スケジュール

- 26 年 11 月 5 日 : 専門委員会にて日時・詳細の決定  
26 年 12 月頃 : 保護者・本人に 27 年 8 月に行う旨の予告通知 ※  
27 年 6 月頃 : 保護者・本人に実施の通知 ※  
27 年 8 月 : 8or22or29 日の土曜日 17 時に開催  
27 年 10 月 : 専門委員会で報告

※健康リスク心理相談のお知らせと専門委員会ニュースは送付の希望制をとっているが、連絡先等調査票や重要なお知らせは全員に送付することになっているので、今回のワールド・カフェの開催通知は重要なお知らせという位置付けで、全員に送付とする。専門委員会主催として委員長名で通知する。

### ワールド・カフェとは

Juanita Brown (アニータ・ブラウン) 氏と David Isaacs (デイビッド・アイザックス) 氏によって、1995 年に開発・提唱されました。当時二人が、知的資本経営に関するリーダーを自宅に招いた話し合いの場において、ゲストがリラックスしてオープンに生成的な話し合いを行えるように、様々な工夫を凝らした空間で話し合いを行った結果、創造性に富んだダイアログを行うことができたことが始まりとなります。その後、想像できないほど多くの知識や洞察が生まれたことに感銘を受けた二人が、その経験から主体性と創造性を高める話し合いのエッセンスを抽出してまとめたのがワールド・カフェです。「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をを行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法です。

### 親子ワールド・カフェの趣旨

さしがや保育園のアスベストの事件発生から 15 年が経過し、当時の園児達も高校生や大学生になりました。これまではリスク相談会やX線の読影会等、各事業の連絡は保護者へ向けて行っていました。これからは当事者である子ども達とその主体となっていくため、さしがや保育園アスベスト専門委員会では、さしがや保育園のアスベストについて、保護者だけでなく子ども達も内容を理解し、親や子どもが改めて交流する場を設ける必要があると考えます。そこで、保護者や子ども達が気軽に参加できるよう、さしがや保育園アスベスト親子ワールド・カフェを開催します。

親子ワールド・カフェは、その名の通り「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、お菓子やお茶を飲みながら保護者や子ども達が自由に対話し、専門の先生とも気兼ねなく話をできる場です。

参加は親だけでも子だけでもよく、当日自由に参加できるものとし、あらかじめの出欠はとりません。

### 出席予定委員

- 岡 輝明委員 (公立学校共済組合関東中央病院 臨床検査・病理科部長)  
名取雄司委員 (ひらの亀戸ひまわり診療所医師 (内科・呼吸器科))  
東 賢一委員 (近畿大学医学部環境医学・行動科学教室 講師)  
塩見 和委員 (北里大学病院呼吸器外科 診療講師 (助教))  
水流恵子委員 (臨床心理士 (原宿カウンセリングセンター、神奈川県臨床心理士会副会長))  
永倉冬史委員 (中皮腫・じん肺・アスベストセンター事務局長))

今井桂子委員（保護者代表）  
飯田昌男委員（保護者代表）  
久住智治委員（文京区役所男女協働子育て支援部長）  
ほかに当時を知る前委員として  
平野敏夫氏（ひらの亀戸ひまわり診療所所長）に出席依頼の希望あり

## 当日の流れ

### <ワールド・カフェ概要>

日程：平成 27 年 8 月の土曜日 17 時から 1 時間程度 ※お盆の時期を外す

場所：文京シビックセンター内の会議室

参加者：保護者・児童本人・専門委員・事務局

内容：概要の説明とお茶やお菓子を食べながら自由に話をする。構成は以下の通り。

### <冒頭>5 分程度

- ・久住部長または事務局より、開催冒頭挨拶と委員紹介。

### <前半>さしがやのアスベストについて概要を説明：15 分程度

- ・アスベストとはどんなものなのか。
- ・さしがや保育園のアスベストについて、いつ、何があったのか、当時の状況について。
- ・その後の動き：専門委員会の発足や、委員会でのどのような議論や決定があったか。
- ・説明者は、専門委員の先生どなたか。（複数でも可）

### <後半>ワールド・カフェ：30 分程度

- ・自由歓談。
- ・専門委員の先生方の席へも自由に質問等へいってもらおう。
- ・閲覧用に「文京区さしがや保育園アスベストばく露による健康対策等検討委員会報告書」、配布用に「パパ・ママ 子どもとアスベスト」「アスベストってなに？」の冊子を自由に手に取ってもらえるよう会場に置いておく。

### <末尾>今後について：5 分程度

- ・事務局より、今後の流れを説明：読影会や健康・心理相談を実施していくこと、大事な情報があればお知らせすること、調査票は毎年確認のため送付することなどを伝える。

